



令和6年度 島根県教育センター 島根県教育センター浜田教育センター
教育研究発表会

教育センターでは、教職員の皆様の参考になり、教育課題の解決の一助となることを目指し、調査・研究活動に取り組んでいます。この研究の成果を発信する場として、「子どもを主語にする学校教育の創造」というテーマで令和6年度教育研究発表会を開催します。皆様のご参加・ご視聴をお待ちしています。

テーマ	『子どもを主語にする学校教育の創造』	
第2部	日時	令和6年5月18日(土) 13:30～16:00【オンライン配信(Youtube Live)】 (※アーカイブ配信 5月18日～6月28日)
	講演	『ウェルビーイングの実現と 令和の日本型学校教育がめざすもの ～ ICT活用を手段に～』
	講師	溝上 慎一氏 (学校法人桐蔭学園 理事長 桐蔭横浜大学 教授)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・第1部として、指導主事共同研究と長期研修員研修報告をオンデマンド配信(5/10～6/28)いたします。 ・本発表会の参加をもって、管理職セレクト研修、フォローアップ研修(2年目)の校外自主研修とすることができます。 	参加申込等の詳細については、4月中旬に案内いたします。

研修報告

■「GIGA スクール時代の遠隔・オンライン講座」、「GIGA スクール時代のクラウド活用講座」

昨年4月時点で、1人1台端末を授業で活用している小中学校の割合は「週3回以上」が約8割に上ります(令和5年度「全国学力・学習状況調査結果」)。端末を毎日使い授業が変わり始めた学校がある一方で、あまり活用していない学校があるという状況は全国も島根県も同様です。そこで本講座では1人1台端末&クラウド環境だからできることを体験し、クラウドの強みを生かした授業づくりについて考えました。



受講者からは「校内で伝達研修し、(ICTの活用に対して)苦手意識を持っている教員が少しでもやってみようと思えるように。」といった声が聞かれ、それぞれの学校内での広がりも期待できそうです。

文部科学省の武藤久慶氏は「まず働き方改革での活用、校務や研修での活用を」とおっしゃっています。クラウドの良さは使ってみなければわかりません。子どもたちの学びのアップデートのために、ぜひ皆様の仕事もアップデートを。

■「新学習指導要領実施のための高等学校授業改善研修」

今年度で「新学習指導要領実施のための高等学校授業改善研修」が終了しました。本研修は、島根県内の公立高等学校のすべての教員を対象とした悉皆研修で、令和3年度からの3年間、平成30年に告示された学習指導要領を基にICT利活用と学習評価についての理解を深める目的で行いました。今年度の研修においては、「1人1台端末の活用について実践意欲が高まった」、「評価について教科会で検討することの必要性を再認識した」などの感想が見られた一方で、特に学習評価については苦労や不安の声も聞かれました。

次年度からは、能力開発研修において中学校、高等学校の教員を対象とした教科指導に関する研修が再開されます。文部科学省などから講師を招き、改めて学習指導要領と学習評価について学ぶとともに、ICT機器の活用や学習評価などについて実践発表や演習、協議を取り入れ、授業を具体的にイメージして授業改善への意欲を高めることができる研修となるように計画しています。**ぜひ、次年度の能力開発研修に参加ください。**

※OJT研修 日常の教育活動を通して、職務に必要な資質能力を計画的・重点的に身につける研修
 Off-JT研修 日常の職務を離れて、職務に必要な資質能力を計画的・重点的に身につける研修